

港湾の防災機能向上と活性化に向けた施策の充実・強化

- 港湾の防災機能向上による安全・安心な暮らしと“みなと”を中心とした賑わいのあるまちづくりを実現する。

【提案・要望先】財務省、国土交通省

1. 提案・要望内容

(1) 港湾の防災機能向上のための支援

- 小規模な内水面の港湾に対する補助要件の特例を創設すること

(2) 港湾を核とした地域活性化の推進

- 構想の検討や基礎調査等に係る財政支援制度を創設すること
- 港湾を核とした地域活性化の推進につながる支援に期待

2. 提案・要望の理由

(1) 港湾の防災機能向上のための支援

- 本県が管理する港湾は全て湖岸に面し、平時は観光舟運に限られているため、規模は大きくないが、災害時の広域輸送拠点として重要な役割を担っている。しかしながら、既存の補助金制度（港湾メンテナンス事業）では、対象事業費が2億円以上とされ、対象施設も限定されているため、本県が管理する港湾施設での適用が難しい状況にある。そのため、小規模な内水面の港湾に対する補助要件の特例が必要。

(2) 港湾を核とした地域活性化の推進

- 本県が管理する港湾は、商業施設や住家等と近く、市街地の一部を形成しているものの、賑わいが乏しい状況にある。こういった中、大津港では、
 - ・昨年、敷地内にナショナルサイクルルート“ピワイチ”の拠点となるサイクルステーションがオープン
 - ・来春、「びわ湖疏水船」が大津港への乗り入れ予定
 - ・令和9年には「(仮称)新・琵琶湖文化館」が港湾区域の一角に開館予定など、港を中心とした賑わい創出の環境が整いつつある。

県と市ではこの機を捉え、大津港の「みなとオアシス」への登録も見据えて、港湾を核とした賑わいづくりを推進すべく、基本構想の策定を予定しているため、構想の検討や基礎調査等に係る財政支援制度が必要。また、登録後、みなとオアシス運営協議会が取り組む、賑わい創出のためのイベントや関係する施設整備など、港湾を核とした地域活性化の推進につながる支援に期待。

(本県の取組状況と課題)

(1) 港湾の防災機能向上のための支援

- ・ 県が管理する港湾は全て琵琶湖岸に存在しており、最も大きい大津港でも海港と比較すると小規模
- ・ 滋賀県地域防災計画において、大津港、彦根港、長浜港を広域輸送拠点に位置付け
- ・ 老朽化等により、防災施設としての機能が低下



※補助金等の対象でないため、維持管理に苦心している施設例

複数箇所でも雨漏りが発生!



(2) 港湾を核とした地域活性化の推進

- ・ 本県が管理する港湾は、商業施設等と近く、市街地の一部を形成しているものの、賑わいが乏しい状況
- ・ 大津港を中心とした賑わいの創出に向けた動き
 - ☞ 令和4年4月に“ビワイチ”の拠点となるサイクルステーションがオープン
 - ☞ 来春、「びわ湖疏水船」の大津港への乗り入れが予定 (現在の乗下船場は、琵琶湖疏水にある)
 - ☞ 令和9年には「(仮称)新・琵琶湖文化館」が開館予定



文化財の収集保管、展示公開、調査研究等のミュージアム機能に加え、地域の文化財のサポートセンター機能や文化観光の拠点となるビジターセンター機能を備えた『近江の文化財』を保存・継承・活用・発信する中核拠点

びわ湖疏水船は、大津市から京都市蹴上までの約7.8kmの疏水を運行する春と秋限定の観光船。美しい桜と紅葉を見ることができるとあり人気!



担当：土木交通部 流域政策局 河川・港湾室
TEL 077-528-4161

©(公社)びわこビジターズビューロー